

# ベネッセSTEAMフェスタ2022

## プレインタビュー 第5回

全国の中高生が探究や研究の内容を発表し、意見を交換して、多様な人と学び合う「ベネッセSTEAMフェスタ」。

3月19日(土)26日(土)の開催に先駆けて、エントリーしたチームを紹介します。

### 東京都 豊島岡女子学園中学校・高校

チーム名 タコライス 発表タイトル「東北応援メニュー～これからの未来へ～」

## 東北の特産品を使って、お弁当向けのメニューを考案

### Q. 探究テーマを選んだ理由は?

メンバー 私たちの学校では、中学1年生から探究学習に取り組みます。そのテーマの1つが「東北応援メニューを考えよう」でした。東日本大震災当時、宮城県仙台市に住んでいたメンバーから、「自分が行動することで力になりたい」という提案があり、1年生の時に同じクラスで一緒に行動することが多かった5人が集まりました。

### Q. 探究の内容や発表の見所を教えてください!

メンバー 東北地方の現状を調べると、震災からの復興に加えて、人口減少への対応が課題であることが分かりました。それらの問題解決に結びつくよう、人口減少が著しい地域や東日本大震災で被害の大きかった地域の特産品を使いつつ、私たちと同世代に東北地方の現状に目を向けてほしいと考え、生徒が毎日食べるお弁当のメニューを考えることにしました。

東北6県を1人1~2県ずつ分担し、その県の特産品や郷土料理などを調べ、メニューを考え、家で調理・試食をしました。青森県はリンゴご飯、岩手県はタラとキャベツのクリーム煮、宮城県はホタテとワカメの炊き込みご飯、秋田県は鶏の粗挽きメンチカツ、山形県は芋煮、福島県は桃のデザートです。例えば、宮城県はお米にしましたが、数ある品種の中からどれを使えば応援できるのかを考えて選びました。そして、各自が調べた内容や調理方法、味の感想などを共有。「汁気の多いものは弁当に入れづらいのでは?」「ブランド食材を使って復興に役立つかな?」などとディスカッションをして改善点を伝え合いました。1人では思いつかなかった点を指摘されて、5人で取り組めば気づきは5倍になるのだと実感しました。

### Q. フェスタへの期待を一言!

メンバー フェスタは、私たちが目標に掲げている、同世代に東北の食材を使った応援メニューや東北地方の現状を発信する絶好のチャンスになると思います。学校外の方々に説明するのは初めてですが、ぜひ私たちの研究を聞いていただき、東北地方への関心を高められればうれしいです。

#### チームメンバー



メンバーは中学2年生の5人。中学1年生の時のクラスメートで、このメンバーでクラスの活動をよく行っていました。

#### 発表ポスター

A39

東北応援メニュー～これからの未来へ～

豊島岡女子学園中学校2年

#### 1. 背景・目的

勤務地: 東北、三陸地方の農業や水産業に興味を持つから。そして、メニューを考えるといふことで面白そうと思ったから。

結果: 東北、三陸地方は東日本大震災によって大きな被害を受けたが、ここまで様々な復興活動で震災前の状態まで戻ろうと努力しているとか。しかし一方で、震災から長い年月が経ってしまい、被災地への関心が薄れていってしまっているという声もあり、今こそもう一度震災について考え直し、現状を知るべき。

#### 2. 研究方法

研究方法: ①リサーチで情報を集める。三陸地方の特産や特徴を調べて、インターネットで調べた。②企画: 5人で東北地方をそれぞれの県を担当して、その地域の特産品や問題を解決できるどのような復興活動をしているのか、今の被災地の状況はどうなっているのか、そして「人口減少」という日本の前に起こっている課題について知つてもらおう。

結果: 東日本大震災によって、東北地方がどのように復興活動をしてきたのか、また今の現状はどうなっているのかどうかを調べるために、被災地への関心が薄れてしまっているという声もあり、今こそもう一度震災について考え直し、現状を知るべき。

#### 3. 結果

結果の分析: 東日本大震災によって、東北地方がどのように復興活動をしてきたのか、また今の現状はどうなっているのかどうかを調べることができた。私たちなりの東北

の特産品や問題を解決できるようなメニューを考えたこと。③考ったメニューをそれぞれが作り、結果を共有したうえで味つくり方、体の味もかみつけた。

結果の表現: 東北、三陸地方の特産品や食材をたくさん

校内発表をした時のポスターです。プレゼンテーションソフトを使ったのが初めてで、何度も書き直し、まとめました。納得するメニューができましたが、目標とした人口減少の問題にどうつながるか分かりにくくと気づきました。それをどう改善するかが、今後の課題です。



外部発表は、初めてのチームです。  
全国の方々から意見をいただき、  
どんな成長をするのか楽しみです。

指導担当 藤野優佳先生

「5人いれば気づきが5倍」は、  
大切ですね。その気づきの広がりを  
フェスタでも体験してください!



ベネッセ事務局 芦野恒輔



今回で13回目となる「ベネッセ STEAM フェスタ」には、全国の中学校・高校から110チーム約280人がエントリー。多種多様な分野から発表されます! 詳しい開催概要は、下のURL、または右の2次元コードからアクセスしてご覧ください。  
<https://steamfesta.benesse.co.jp/>